

# 越後・奥三面の民具

*Mingu* of Echigo District-Okumiomote

神野善治



## 凡 例

- 1) この表は、『越後奥三面の山村生活用具図録』（新潟県朝日村教育委員会 2008 年）をもとに作成した。
- 2) 本表の分類（掲載順）は、上記資料に準じている（下記目次参照）。
- 3) 「名称」欄の民具名は、『国際常民文化研究叢書 6 一民具の名称に関する基礎的研究—[民具名一覧編]』（神奈川大学 国際常民文化研究機構 2014）に記載の名称に揃うよう心がけたが、[民具名一覧編]に記載のなかったものについては便宜上つけた名称である。
- 4) 「奥三面での呼称」欄には、上記資料に記載のあった名称を記したが、必ずしもすべてが、この地域の方言名称かどうかは確認できなかった。中には一般的な名称も含まれているようである。
- 5) 「説明」欄の個別の民具の解説文は、上記資料から引用した。
- 6) 「画像ファイル名」欄に記載のあるものは、本叢書 83 ページ以降の画像一覧にまとめて掲載した。なお、画像はすべて村上市教育委員会のご好意により、上記資料からの転載を許可していただいたものである。改めて御礼申し上げたい。
- 7) 「画像ファイル名」について  
画像ファイル名は出典をたどれるように名づけた。  
例) 越 1\_ 図 001- アオシシヤリ  
→「越 1」は『越後奥三面の山村生活用具図録』、写真番号 1 の「アオシシヤリ」（当該地の呼称）の画像であることを表す。
- 8) 「カテゴリ」欄は、本表を再編する際の区分けとして試みにつけてみたものである。今後の活用を考えてそのまま残した。

## 目 次

狩猟用具	……………p. 77	山樵用具	……………p. 81
漁撈用具	……………p. 78		
自然物採集・加工用具	……………p. 79	画像一覧	……………p. 83
農耕用具	……………p. 79		

名 称	奥三面での呼称	説 明	画像ファイル名	カテゴリー
<b>狩猟用具</b>				
<b>ア. 狩猟具</b>				
<b>1. カモシカ猟</b>				
槍	アオシシヤリ	寒中のカモシカ狩りに使用する。斜面を登るときに雪をそぎ落とす際にも使用する。	越1_図001-アオシシヤリ	ヤリ・ワナ類
<b>2. クマ猟</b>				
槍	クマヤリ	タテシ猟（冬眠中、穴の中にいるクマを獲る猟法）で使われた。	越1_図003-クマヤリ	ヤリ・ワナ類
<b>3. 共用</b>				
猟銃	ムラタジュウ	村田銃。狩猟用。明治30年ごろ三面に入ってきて以来、狩猟具の主流となる。	越1_図004-ムラタジュウ	鉄砲用具
荷縄	タナワ	シナノキの皮製の縄。カモシカを引き上げる際や荷縄の代わりに使用する。	越1_図005-タナワ	運搬用具
山刀	キリハ	クマやカモシカ等の解体に使用する山刀。狩猟の際の必需品。サヤはホウノキにサクラノキの皮が巻かれている。	越1_図006-キリハ	加工用具
<b>イ. 携行品</b>				
<b>1. カモシカ猟</b>				
小鋤	クシキ	鉄砲によるカモシカ猟の際に雪にさして銃台にしたり、斜面を登る際には雪をそぎ落とすのにも使用した。	越1_図007-クシキ	除雪具/狩猟具
めんば	メンツ	弁当入れ。フタとハコからなる。山小屋での食器、弁当箱として使用。	越1_図008-メンツ	飲食用具
<b>2. クマ猟</b>				
背負袋	デジシブクロ	狩猟の際、さまざまなものを入れて背負う。	越1_図009-デジシブクロ	運搬用具
荷縄	ニナワ	荷担ぎ用の丈夫な縄。	越1_図010-ニナワ	運搬用具
苫	ノマ	クマ猟など夜営の際、雨よけのための小屋掛けとして使用する。	越1_図011-ノマ	その他
滑車	キンシャ	川にワイヤーを張りキンシャを下げて、腰掛ヒモに座り行き来したり、物の移動にも使用。クマ猟、山菜採りの際に使用。	越1_図012-キンシャ	その他
<b>3. 共用</b>				
松明	タイマツ	暗くなったときやクマ穴を見るときなどに使用。	越1_図013-タイマツ	その他
めんば	サイレンコ	弁当入れ。フタとハコからなる。泊まりでの狩猟の際には味噌や漬物を入れて持っていく入れ物。農作業などに行く際の弁当のおかず入れとしても使用。	越1_図014-サイレンコ	飲食用具
弁当入れ	ゼニブクロ	ヒツツ（狩猟のときの弁当入）を入れる袋。腰に結び付ける。	越1_図015-ゼニブクロ	飲食用具
弁当包み	ヒツツ	ヒツツ草製。山などに行く時の弁当を包む。おにぎり、草餅、トチ餅などを包む。	越1_図016-ヒツツ	飲食用具
詰替器	ツメカエキ	鋼鉄製。村田銃の弾のつめかえ器具。折りたたむことにより、使った雷管を取り除き、新しい雷管に詰替える。	越1_図017-ツメカエキ	鉄砲用具
鉋	ナタ	木の皮や柴などを伐採する道具。	越1_図018-ナタ	加工用具
鞘	ナタのサヤ	鉋を持ち歩く時や刃を保護するためのいれもの。	越1_図019-ナタノサヤ	加工用具
袋	ナワテゴ	編み袋。ワラ縄を袋状に編んだいれもの。狩猟の際やゼンマイ採り等、荷物や収穫物を運ぶときに使用する。	越1_図020-ナワテゴ	運搬用具
<b>ウ. 泊猟用具</b>				
<b>1. クマ猟</b>				
俎板	シシマナイタ	猪俎板。クマなどの肉切り専用のまな板。	越1_図021-シシマナイタ	加工用具
飯盒	ハンゴウ	夜営の際に飯を炊く道具。	越1_図022-ハンゴウ	飲食用具
<b>2. 共用</b>				
杓文字	ヘラ	竈。鉄ナベや飯ごうから飯をすくう用具。	越1_図023-ヘラ	飲食用具
杓子	シャクシ、シシジャクシ	杓子。クマ汁を鍋からすくう時の杓子。	越1_図024-シャクシ	飲食用具
鍋	テツナベ	鉄鍋。山小屋やゼンマイ小屋で飯炊きや汁、おかずを煮るのに使用する。	越1_図025-テツナベ	飲食用具
<b>エ. 処理用具</b>				
<b>1. カモシカ猟</b>				
皮桁	アオシシカゲタ	皮なめし棒。カモシカの皮を乾燥させるために張りつける用具。	越1_図026-アオシシカゲタ	加工用具
<b>2. クマ猟</b>				
皮桁	クマのシシカゲタ	皮なめし棒。クマの皮を乾燥させるために張りつける用具。	越1_図027-クマノシシカゲタ	加工用具
<b>オ. 狩猟着</b>				
<b>1. カモシカ猟</b>				
手袋	テカワ	狩猟時の防寒用手袋。カモシカの足の皮製。	越1_図028-テカワ	衣類【その他】

名称	奥三面での呼称	説明	画像ファイル名	カテゴリ
袴	コバカマ	麻製。ヌノハタオリキで作製。狩猟の際にはく下半身用の衣服。	越1_図030-コバカマ	衣類【下衣】
中敷	タビシキ	沓の中敷き。皮タビの中に入れる敷きもの。保温のためと皮タビの中で足を安定させるために使用する。	越1_図031-タビシキ	履物類
皮沓	カワタビ	皮沓。狩猟時の防寒靴。カモシカの足の皮製。	越1_図032-カワタビ	履物類
履物の滑り止め	ナカユイ	ワラ製。皮タビに二重に巻きつけて滑り止めにした。足の甲の部分で結び、端を長く残さないようにした。	越1_図033-ナカユイ	履物類
夜具	ヤマギモン	山着物。布を重ね合わせ刺し縫われた衣服。狩猟の際、山小屋に宿泊するときの夜具代わりに使用。	越1_図034-ヤマギモン	衣類【上衣】
<b>2. クマ猟</b>				
袴	コバカマ	カモシカ猟以外の狩猟や田作業を除く、畑・山・川作業にはくハカマ。小用の穴あり。		
藁沓	ジンベ	足の甲部分にも覆いがあるワラジのようなもの。藁製。クマ猟に行くときの履物。	越1_図035-ジンベ	履物類
<b>3. 共用</b>				
笠	スゲガサ	菅笠。すげ製。雨・雪・日差しを防ぐのに使用。狩猟のみではなく、農耕・漁撈にも使用された。	越1_図036-スゲガサ	雨具・防寒
頭巾	ブシ	頭に被る防寒用の頭巾。狩猟時は合図や雪崩の音を聴き逃さないために、両耳をおおわないように被った。	越1_図038-ブシ	雨具・防寒
蓑	ヒネリミノ	蓑。ヒヨリ製。防雨・防雪の外套。漁撈・農耕・山樵活動にも使用する。内側をアミのように編み、通気性が良い。	越1_図039-ヒネリミノ	雨具・防寒
	ヒノリミノ	蓑。ヒヨリ製。防雨・防雪の外套としてだけでなく、荷担ぎにも用いられる。外側中央に数本のウリハダカエデの皮が付く。	越1_図041-ヒノリミノ	雨具・防寒・荷担ぎ
背中蓑	ワラミノ	藁蓑。ワラ製。荷担ぎに用いられる。	越1_図043-ワラミノ	荷担ぎ
仕事着	テッポウソデ	刺子。狩猟の際は地肌に直接着る。	越1_図045-テッポウソデ	衣類【上衣】
帯	オビ	テッポウソデ、ヤマギモンの帯。裂き織り。	越1_図046-オビ	衣類【その他】
胸当	マエカワ	防寒具として、胸部・腹部に着用する。セナカワと組み合わせて着る。	越1_図047-マエカワ	防寒具
背中当	セナカワ	防寒具として背中全体に着用する。マエカワと組み合わせて着る。	越1_図049-セナカワ	防寒具
腕当	ソデカワ	防寒具として両腕に着用する。マエカワ、セナカワと併用して着る。	越1_図051-ソデカワ	防寒具
脛巾	ハンパキ	麻製。すねに巻きつけ、着用する。歩く際のすねを保護するためのもの。畑・山・川作業の際も使用する。	越1_図052-ハンパキ	履物類
輪樑	カンジキ	雪上歩行の際、深雪に埋まらず、凍結に滑らないための履物。	越1_図053-カンジキ	履物類
<b>漁撈用具</b>				
<b>ア. 採集用具</b>				
<b>1. マス漁</b>				
箱	カサヤス	マス捕り用のヤス。刺突部の先端は二又になっている。ヤスの先端にはカサと呼ばれる尖った部品が被せられる。刺したとき、魚の体内にカサが残り、逃げられないように工夫されている。	越1_図054-カサヤス	ヤス類
	ホリマスヤス	五又と四又のものがある。産卵期のマス捕り用。夜に使用。	越1_図056-ホリマスヤス	ヤス類
魚鈎	マスカギ	柄は現地調達。潜水してマスの腹部にかぎを引っ掛けて捕える。奥三面では一般的な漁法ではなく、一部で行われた。	越1_図058-マスカギ	カギ類
釜	ドォ	釜。マスを狙って川や沢の瀬に設置する仕掛け。	越1_図059-ドォ	釜類
<b>2. イワナ漁</b>				
釜	イワナドォ	釜。イワナを捕る仕掛け。	越1_図060-イワナドォ	釜類
箱	イワナヤス	五又のヤス。銚。川に潜ってイワナを突き刺す。	越1_図061-イワナヤス	ヤス類
<b>3. ザッコ漁</b>				
叉手網	エナミ	ワク、網からなる。河川の増水時に、川岸に寄ってくるイワナ、ヤマメ、カジカなどを捕まえる。	越1_図062-エナミ	網類
釜	ザッコドォ	釜。カジカ、ウグイ、ハヤなどのザッコを狙った。	越1_図063-ザッコドォ	釜類
魚網	ザッコトリアミ	腰につけて捕獲した魚を入れておく網として用いた。	越1_図064-ザッコトリアミ	網類
釜	ドジョウドォ	釜。ドジョウを狙って、田の隅などに仕掛けた。	越1_図065-ドジョウドォ	釜類
箱眼鏡	ハコガラス	箱眼鏡。スギ製のワクとガラスからなる。水中を覗くための道具。	越1_図066-ハコガラス	その他
<b>4. 共用</b>				
魚鈎	テンカラカギ	鈎鈎。鋼鉄製、三又のカギ。サケ捕りに使用する。川岸から川に向かって投げ入れ、サケを引っ掛けた。	越1_図067-テンカラカギ	カギ類
投網	アミ	麻製、投網。よどみや浅瀬の小魚を捕る。	越1_図068-アミ	網類

名称	奥三面での呼称	説明	画像ファイル名	カテゴリ
生簀	イケスバコ	生簀箱。クリノキ製。蓋は蝶つがいで半分が開く。蓋や箱の上部に複数の穴があり、水抜きができる。捕獲した魚を一時的に入れておく道具。	越1_図069-サカナノイケスバコ	その他
たも網	タモ	たも網。増水時などに、川岸で水に浸った藪の辺りに網を突っ込んでイワナ、カジカ、ウグイなどを捕獲する道具。	越1_図070-タモ	網類
魚籠	ハケゴ	魚籠。主にマタタビを編んで作ったカゴ状の入れ物。腰につけ、捕った魚を一時的に入れておく容器。	越1_図071-ハケゴ	その他
<b>自然物採集・加工用具</b>				
<b>ア. 採集用具</b>				
<b>1. ゼンマイ採り</b>				
腰籠	ナワテゴ、コシテゴ	ワラ縄で編んだカゴ状の入れもの。ゼンマイ採りに使用。	越1_図072-ナワテゴ	運搬用具
鉄標	カナカンジキ	鉄かんじき。急斜面などの滑り止めのために履物の裏に装着する。	越1_図073-カナカンジキ 越1_図074-カナカンジキ	履物類
<b>2. その他</b>				
籠	スワフゴ	ヤマブドウの皮(スワ)製。カゴ状の入れもの。キノコ類・山菜類の採取・運搬に使用。	越1_図075-スワフゴ	運搬用具
	テゴ・ナメコフゴ	ナメコ採り専用のご。背中に担いで運搬する。	越1_図076-テゴ 越1_図077-テゴ	運搬用具
	ハケゴ	腰籠。素材を編んで作ったカゴ状の入れもの。腰に付け、木の実拾いなどに使用する。	越1_図078-ハケゴ 越1_図079-ハケゴ 越1_図080-ハケゴ	運搬用具
<b>イ. 加工用具</b>				
<b>1. 加工用具</b>				
編袋	アミブクロ	編袋。ビニール製。網状に編んだ入れもの。ゼンマイを入れて茹でる。	越1_図081-アミブクロ	調理器具
筵	ウスムシロ	筵。ゼンマイなどを干すとき地面に敷いて、その上にゼンマイを広げる。	越1_図082-ウスムシロ	敷物
叉木	マツカ	叉木。アミブクロに入れたゼンマイが茹であがったら、結び目等にひっかけて取り上げる道具。	越1_図083-マツカ	調理器具
鍋	ゼンマイユテナベ	ゼンマイ茹で鍋。円形で朝顔のように口縁部が開く形をしている。ゼンマイを茹でる。	越1_図084-ゼンマイユテナベ	調理器具
箕	メッカイ	枠がU字状を呈するミのような道具。茹でたゼンマイをムシロに運ぶために使う。	越1_図085-メッカイ	調理器具
<b>2. その他</b>				
栃剥き	トチムキ	トチの実の鬼皮を剥き、核を取り出す。	越1_図086-トチムキ	調理器具
<b>ウ. その他</b>				
<b>1. ゼンマイ採り</b>				
筵	アツムシロ	ゼンマイ小屋、作業小屋の敷物。また、ゼンマイなどを干すとき、地面に敷いて上にゼンマイなどを広げるのにも使用。	越1_図087-アツムシロ	敷物
カンテラ	カンテラ	真鍮製。燃料を入れておく下部と燃焼させる上部からなる。ゼンマイ小屋の燈火として使用。	越1_図088-カンテラ	灯火具
ランプ	ランプ	ガラス、トタン製。燃料を入れておく下部と燃焼させる上部からなる。ゼンマイ小屋の燈火として使用。	越1_図089-ランプ	灯火具
丸木船	マルキブネ	トチノキ製。伐採した木をくり抜いてつくった川舟。ゼンマイ採りや農作業、山仕事などの際、人や物の往来するのに使用した。	越1_図090-マルキブネ	水上移動
罾網	舟ヅナ	ワラ製。丸木船を係留させるために使用する網。		水上移動
<b>エ. 仕事着</b>				
<b>1. 仕事着</b>				
胸当て	ムネアテ	綿製。凸形で、畑・山・川仕事の際、胸部に使用する胸あて。	越1_図091-ムネアテ	その他
脛巾	ハンバキ	ミチシバ製。畑・山・川仕事の際、すねに着用し保護するすね当て。	越1_図092-ハンバキ	その他
草鞋	ワラジ	ワラ製。小判形。紐を鼻緒から踵へまわし、足首に巻きつけて結ばれる。山菜採りや山仕事などの際に履いていく。	越1_図093-ワラジ	履物類
<b>農耕用具</b>				
<b>ア. 耕作用具</b>				
<b>1. 焼畑</b>				
草削り	カクサトリ	柄はホウノキまたはナラ製。焼畑を耕した際、草の根を掘り起こす道具。形をそのまま生かし自然木を加工したものもある。	越1_図094-カクサトリ	耕作用具
金鍬	カノウナイグワ	鋼鉄製の刃部とイタヤカエテなどの柄からなる。焼畑の耕起に使用する道具。	越1_図095-カノウナイグワ	耕作用具
唐鍬	トウグワ	鋼鉄製の刃部とナラノキなどの柄からなる。焼畑の耕起に使用する道具。	越1_図096-トウグワ	耕作用具

名称	奥三面での呼称	説明	画像ファイル名	カテゴリ
<b>2. 畑作</b>				
鍬	クワ	鍬。鋼鉄製の刃部とホウノキ、クルミなどの柄からなる。畑作において土を掘り起こす場合などに使用する道具。	越1_図097-クワ	耕作用具
<b>3. 水稲稲作</b>				
田舟	コイヒキブネ	スギ製。水田にまく肥料を運搬する道具。	越1_図098-コイヒキブネ	運搬用具
熊手	コマザラエ	ホウノキ製。主に水苗代に浮いた草やごみを取る道具。	越1_図099-コマザラエ	施肥・除草・病害虫防除用具
ごみ除け	ナデボウキ(ワラボウキ)	水苗代の水路入口に設置し、土砂やごみが入らないようにする。	越1_図100-ナデボウキ	施肥・除草・病害虫防除用具
備中鍬	タブチクマデ	刃部は三叉で、三本ともまっすぐに伸びる。田の荒起こしに使用する道具。	越1_図101-タブチクマデ	耕作用具
	コギリクマデ	鋼鉄製の刃部、クルミ製の柄からなる。刃部は三叉。タブチクマデで荒起こしした土をさらに細かくする際に使用する道具。	越1_図102-コギリクマデ	耕作用具
犁	バッコウ	鋼鉄製の刃部と木製の柄からなる。柄の部分を持ち、馬に引かせ田起こしに使用する道具。	越1_図103-バッコウ	耕作用具
回転刃碎土機	ハナ(花車)	鋼鉄製の刃部、刃部を回転させる部分、馬に引かせる柄からなる。馬に引かせ、刃部が回転することにより田の土を細かく耕す。	越1_図104-ハナ	耕作用具
馬鍬	マンガ	馬に引かせ水田を均す最終工程の道具。	越1_図105-マンガ	耕作用具
縄	フッテ	ワラナワ製。田を耕す際、馬と農耕具をむすびつけるために使用する縄。主にクラの両脇に結び付ける。	越1_図106-フッテ	牛馬付属用具
手綱	カラハナ	ワラナワ製。馬のクツフにつける縄。	越1_図107-カラハナ	牛馬付属用具
轡	クツフ	馬を誘導させるため口に噛ませる道具。	越1_図108-クツフ	牛馬付属用具
鼻竿	サセボウ	ホウノキ製の棒とワラナワからなる。水田耕起の際、馬のクツフにワラナワをつけて誘導するための道具。	越1_図109-サセボウ	牛馬付属用具
鞍	クラ	水田耕起の際、馬の背に載せ、さまざまな農耕具と結び付ける道具。	越1_図110-クラ	牛馬付属用具
畔付鍬	クロツケクワ	鋼鉄製の刃部とホウノキ製の柄からなる。主にクロ(畦)付けに使用する。	越1_図111-クロツケクワ	耕作用具
田植杵	ワク	スギ製。八角柱状で、横木が回る。	越1_図112-ワク	耕作用具
柄振	イブリ	ホウノキ製。田植えの前に、水田の土を平らにならすための道具。	越1_図113-イブリ	耕作用具
雁爪	ガンヅメ	堅い田の草取りに使用する道具。	越1_図114-ガンヅメ	施肥・除草・病害虫防除用具
回転除草機	ジョソウキ	先端部は平らになって土の中にもぐらないようにしてある。刃部が回転することにより雑草を掘り起こす。	越1_図115-ジョソウキ	施肥・除草・病害虫防除用具
鋸鎌	ノコギリガマ	鋼鉄製の刃部とイタヤカエデ製の柄からなる。稲を刈り取る鎌。稲の根元にノコギリ状になった刃をあて、手前に引くことにより刈り取る。	越1_図116-ノコギリガマ	収穫・脱穀用具
稲刈機	イネカリキ	鋼鉄製の刃とナラ製の柄からなる。稲を刈り取る道具。刃部を稲の根元に当てて、押し刈る。立ったままで稲刈りを行える。	越1_図117-イネカリキ	収穫・脱穀用具
<b>4. 共用</b>				
天秤棒	カタネボウ	主にスギ製の柄と、主にシナノキ製のナワ、オケを吊り下げるカギの部分からなる。肥料・水などを入れたオケを吊り下げて運ぶ道具。カギが片端のものとも両端につくものがある。	越1_図118-カタネボウ	運搬用具
堆肥籠	コエショイカゴ	ヤマブドウ(スワ)とヤマウルシ製のカゴ部、スギとワラ、ワラナワ製の背負い部からなる。カゴ部に堆肥を入れて、背負って運ぶときに使用する道具。	越1_図119-コエショイカゴ	運搬用具
熊手	コエダシクマデ	鋼鉄製の刃とホウノキやクルミ製の柄からなる。刃部は三叉の爪になっている。堆肥出しに使用する道具。	越1_図120-コエダシクマデ	施肥・除草・病害虫防除用具
櫓	コエフキソリ	木製のソリ部とイタヤカエデ製の棒をならべ、紐で結んだ搭載部からなる。堆肥の運搬に使用する道具。馬または人力で引いて移動させる。	越1_図121-コエフキソリ	運搬用具
草刈鎌	クサカリガマ	鋼鉄製の刃とホウノキ製の柄からなる。主に草刈りに使用する。	越1_図122-クサカリガマ	施肥・除草・病害虫防除用具
<b>イ. 収穫・調製用具</b>				
<b>1. 焼畑</b>				
叩き棒	ソバブチバイ	ウワミズザクラ(ミズメ)製。二又。収穫したソバをたたいて、実を落とすときに使用する道具。	越1_図123-ソバブチバイ	収穫・脱穀用具
<b>2. 水稲稲作</b>				
千歯扱	センバゴケ	鋼鉄製の歯部とスギ製の台木部からなる。稲の脱穀用具。	越1_図124-センバゴケ	収穫・脱穀用具
土摺臼	スルス	糶摺り臼。ナラ製の台部と塩入り粘土製の上下臼部からなる。臼部の周りは竹を編んだもので固定している。回転することにより糶と玄米に分離する。	越1_図125-スルス	収穫・脱穀用具
万石通し	タテセン	鋼鉄とスギからなる台部とアミ部からなる。脱穀の最終段階として、玄米と糶殻、ゴミを選別する。	越1_図127-タテセン 越1_図128-タテセン	調製・選別用具
米搗臼	ウス	ケヤキ製。ウス内部がU字状である。米つきに使用する臼。	越1_図129-ウス	収穫・脱穀用具

名称	奥三面での呼称	説明	画像ファイル名	カテゴリ
横杵	キネ	ケヤキやヤマガ製。ツチ部と柄からなる。米つき用の杵。	越1_図130-キネ	収穫・脱穀用具
手鈎	カギ	鋼鉄製の刃部とカシ製の柄からなる。刃部は、柄からほぼ垂直に曲がるカギ状になっている。米俵や袋などに引っ掛けて、運搬・移動に用いる道具。	越1_図131-カギ	運搬用具
<b>3. 共用</b>				
手籠	テゴ・カバクゴ	カバとシナノキの皮からなる。小豆などの収穫物を入れる。	越1_図132-テゴ	運搬用具
	テゴ・ワラフゴ	ワラ製。小豆などの収穫物を入れる。	越1_図133-テゴ	運搬用具
	スワフゴ	ヤマブドウ（スワ）製。小豆などの収穫物を入れる。	越1_図134-スワフゴ	運搬用具
足踏み脱穀機	足踏み脱穀機	足踏み脱穀機。稲や大豆などを脱穀する道具。	越1_図135-アシビミダッコクキ	収穫・脱穀用具
叩き棒	テバイ	ウワミズザクラ（ミズメ）製。二叉。大豆や小豆などをたたいてカラ落しする道具。	越1_図136-テバイ	収穫・脱穀用具
篩	トシ	タケ、スワ製のワクとアケビのツル製のアミ部からなる。穀物類の実とカラを選別するための道具。	越1_図137-トシ 越1_図138-トシ	調製・選別用具
唐箕	トミ	穀物の選別に使用する。	越1_図139-トミ	調製・選別用具
箕	ミ	ヤマウルシやウワミズザクラ（ミズメ）製のワクにタケやヘギを編みこむ。少量の穀物の選別に使う。トミに穀物を投入する際にも使われた。	越1_図140-ミ	調製・選別用具
笊	ザル	ヤマウルシ製の円形のワクにマタタビを編む。穀物の選別に使用する道具。	越1_図141-ザル	調製・選別用具
叭	カマス	ワラ製。ゴザのように織ったものを半分に折り返し、脇をコの字に縫いつけ、袋状にしたもの。畑作物（豆類など）のいれもの。	越1_図142-カマス	運搬用具
挽臼	ヒキス	石製。上下の臼部からなる。穀物や豆類を製粉する。	越1_図143-ヒキス	加工用具
米搗臼	ウス・コツキウス	ケヤキやトチ製。中がすり鉢状になっている。穀物や豆類の脱穀、精白・製粉などに使用する道具。	越1_図145-ウス	収穫・脱穀用具
堅杵	キネ・センボンギネ	イタヤカエデ製。堅杵。両サイドがツチ部で中央部が持ち手になる。脱穀に使用。	越1_図146-キネ	収穫・脱穀用具
<b>ウ. 仕事着</b>				
<b>1. 仕事着</b>				
手甲	コテ	綿製。凸状をしている。山菜採りや農作業の際、手の保護のため、手の甲から手首にかけて装着する。	越1_図147-コテ	衣類【その他】
仕事着	サシコ	綿製。布を重ね合わせ刺し縫われた衣服。山菜採りや農作業の際、仕事着として着る女物の上着。	越1_図148-サシコ	仕事着
	テッポウソデ	綿製。布を重ね合わせ刺し縫われた衣服。山菜採りや農作業の際、仕事着として着る男物の上着。	越1_図149-テッポウソデ	衣類【上衣】
山袴	デタチタツケ	麻や綿製。山菜採りや農作業の際、仕事着としては下半身用の衣服。男女どちらも着る。	越1_図150-デタチタツケ	衣類【下衣】
股引	モモフキ	綿製。農作業の際、仕事着としては下半身用の衣服。男物。	越1_図151-モモフキ	衣類【下衣】
<b>山樵用具</b>				
<b>ア. 山樵用具</b>				
鉞	マサカリ	鋼鉄製の刃とイタヤカエデ製の柄からなる樹木の伐採具。	越1_図152-マサカリ	木挽用具
刃鞘	ハガラミ	ヤマブドウの皮（スワ）とシナノキ（シボリハギ）の皮製。マサカリの刃を包み、保護する。	越1_図153-ハガラミ	木挽用具
楔	クチヤ	鋼鉄製の刃と桐製の取っ手、二つを結ぶ麻縄からなる。立木等の伐採の際、切ってきた隙間が木の重さで塞がり、ノコギリが挟まって動かなくなってしまうことを避けるため、木の隙間にかませる道具。	越1_図154-クチヤ	木挽用具
鋸	ノコギリ	鋼鉄製の刃とホウノキ製の柄からなる。立木、木材の伐採等に使われた。	越1_図155-ノコギリ	木挽用具
鞘	ノコギリのサヤ	スギ製。2枚の板の間にノコギリをはさみ、シナノキの皮の縄や麻縄でしばり、ノコギリを携帯、保護する道具。	越1_図155-ノコギリ	木挽用具
目抜き	マドノコギリ	普通のノコギリと違い、刃部に一定間隔でU形の凹みがあり、木屑がたまらないよう工夫がされている。	越1_図156-マドノコギリ	木挽用具
前挽	タテビキノコギリ	鋼鉄製の刃部と桐製の柄からなる幅広のノコギリ。角材や板材などを挽く製材用のノコギリ。	越1_図157-タテビキノコギリ	木挽用具
鋸鋏み	ノコギリハサミ	ホウノキ製。ノコギリの目立てをする際、ノコギリの刃部をはさみ、固定する道具。	越1_図158-ノコギリハサミ	木挽用具
金槌	ウチダシ	金槌。鋼鉄製の打撃部と竹などの柄からなる。ノコギリの目立ての際、刃部をたたいて調製する。	越1_図159-ウチダシ	木挽用具
鍔	ヤスリ	鍔。鋼鉄製の研磨部と竹製などの柄からなる。ノコギリの目立ての際、刃部の調製のため、研磨する道具。	越1_図160-ヤスリ	加工具

名 称	奥三面での呼称	説 明	画像ファイル名	カテゴリ
竹筒	ヤスリツッポ	鍍入れ。竹製の筒。蓋部と筒部からなる。麻縄などで結ばれている。表面にサクラノキの皮を巻いてあるものもある。ノコギリの目立て用のヤスリをいれるいれもの。	越1_図161-ヤスリツッポ	加工具
皮剥	カワムキ	皮剥。鋼鉄製の刃部と主にマルバカエデ（ヒトツバカエデ）製の柄からなる。伐採した木の皮を剥ぎとる道具。	越1_図162-カワムキ	加工具
<b>イ. 搬出用具</b>				
かくまわし	カギ	鉤。鋼鉄製。曲がった先端部を伐採した木材に打ち込み、縄をかけて移動させるのに使用した道具。U字状のものと後端部に環がつくものがある。	越1_図164-カギ	搬出用具
鋸	カスガイ	鋼鉄製。両端が曲がり、先端部が尖っている。木材を積み重ねて運搬する際、崩れないように木と木に打ちつけ固定する道具。	越1_図165-カスガイ	搬出用具
環	カン	鋼鉄製。先端部を木口に打ちつけ、環状部に縄をかけて木を移動させる道具。	越1_図166-カン	搬出用具
楔	クサビ	鋼鉄製。環状部と先端部からなる。カンとは違い、環状部と先端部は一体となっている。カン同様、先端部を木口に打ちつけ、環状部に縄をかけて木を移動させる道具。	越1_図167-クサビ	搬出用具
鳶口	トンバシ	鋼鉄製の刃部とホウノキ製の柄からなる。木材の移動・運搬の際、鋭く尖った刃部を木材に打ちつけ、木材を引っ張る道具。	越1_図168-トンバシ	搬出用具
剣先	ケン	剣。鋼鉄製の刃部。トンバシの刃にくくりつけて、木を押し移動する道具。	越1_図169-ケン	搬出用具
かくまわし	ガンター	木回し。鉄製のハサミ部とイタヤカエデ製の柄からなる。木材をはさみ、テコのようにして木材を動かしたり、回転させたりする道具。	越1_図171-ガンター	搬出用具
橇	キフキソリ	橇。イタヤカエデ製の2本のソリ部と連結部からなる。木材を積んで運搬するための道具。	越1_図172-キフキソリ	搬出用具
	バヂ	橇。木製のソリ部の地面と接する部分をブリキ製の板で包む。ソリ部から斜め上方に柄が伸びる。柄の部分を馬などにくくり付けたり、人力でひいたりする木材などを運搬する道具。	越1_図173-バヂ	搬出用具
滑車	キンシャ	滑車。鋼鉄製。滑車部と環部からなる。張ってあるワイヤーに滑車部を通し、木材を吊って搬出する。	越1_図174-キンシャ	搬出用具
焼印	ハン	印判。鋼鉄製。木材の木口に付ける焼印。木流しなどした後も持ち主の判別がつくようにするための印。	越1_図175-ハン	搬出用具

狩猟用具【狩猟具】



越1\_図001-アオシヤリ



越1\_図003-クマヤリ



越1\_図004-ムラタジュウ



越1\_図005-タナワ



越1\_図006-キリハ

狩猟用具【携行品】



越1\_図007-クシキ



越1\_図008-メンツ



越1\_図009-デジシブクロ



越1\_図010-ニナワ



越1\_図011-ノマ



越1\_図012-キンシャ



越1\_図013-タイマツ



越1\_図014-サイレンコ



越1\_図015-ゼニブクロ



越1\_図016-ヒヅツ

狩猟用具【泊猟用具】



越1\_図017-ツメカエキ



越1\_図018-ナタ



越1\_図019-ナタノサヤ



越1\_図020-ナワテゴ



越1\_図021-シシマナイタ

狩猟用具【処理用具】



越1\_図022-ハンゴウ



越1\_図023-ヘラ



越1\_図024-シャクシ



越1\_図025-テツナベ



越1\_図026-アオシシカゲタ

狩猟用具【狩猟着】



越1\_図027-クマノシシカゲタ



越1\_図028-テカワ



越1\_図030-コバカマ



越1\_図031-タビシキ



越1\_図032-カワタビ



越1\_図033-ナカユイ



越1\_図034-ヤマギモン



越1\_図035-ジンベ



越1\_図036-スゲガサ



越1\_図038-ブシ



越1\_図039-ヒネリミノ



越1\_図041-ヒノリミノ



越1\_図043-ワラミノ



越1\_図045-テッポウソデ



越1\_図046-オビ



越1\_図047-マエカワ



越1\_図049-セナカワ



越1\_図051-ソデカワ



越1\_図052-ハンパキ



越1\_図053-カンジキ

漁撈用具【採集用具】



越1\_図054-カサヤス



越1\_図056-ホリマスヤス



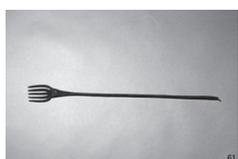
越1\_図058-マスカギ



越1\_図059-ドォ



越1\_図060-イワナドォ



越1\_図061-イワナヤス



越1\_図062-エナミ



越1\_図063-ザッコドォ



越1\_図064-ザッコトリアミ



越1\_図065-ドジョウドォ



越1\_図066-ハコガラス



越1\_図067-テンカラカギ



越1\_図068-アミ



越1\_図069-サカナノイケスバコ



越1\_図070-タモ

自然物採集・加工用具【採集用具】



越1\_図071-ハケゴ



越1\_図072-ナワテゴ



越1\_図073-カナカンジキ



越1\_図074-カナカンジキ



越1\_図075-スワフゴ



越1\_図076-テゴ



越1\_図077-テゴ



越1\_図078-ハケゴ



越1\_図079-ハケゴ



越1\_図080-ハケゴ

自然物採集・加工用具【加工用具】



越1\_図081-アミブクロ



越1\_図082-ウスムシロ



越1\_図083-マツカ



越1\_図084-ゼンマイユデナベ



越1\_図085-メツカイ

自然物採集・加工用具【その他】



越1\_図086-トチムキ



越1\_図087-アツムシロ



越1\_図088-カンテラ



越1\_図089-ランプ



越1\_図090-マルキブネ

自然物採集・加工用具【仕事着】



越1\_図091-ムネアテ



越1\_図092-ハンバキ



越1\_図093-ワラジ



越1\_図094-カクサトリ



越1\_図095-カノウナイグワ

農耕用具【耕作用具】



越1\_図096-トウグワ



越1\_図097-クワ



越1\_図098-コイヒキブネ



越1\_図099-コマザラエ



越1\_図100-ナデボウキ



越1\_図101-タブチクマデ



越1\_図102-コギリクマデ



越1\_図103-バッコウ



越1\_図104-ハナ



越1\_図105-マンガ



越1\_図106-フツテ



越1\_図107-カラハナ



越1\_図108-クツワ



越1\_図109-サセボウ



越1\_図110-クラ



越1\_図111-クロツケグワ



越1\_図112-ワク



越1\_図113-イブリ



越1\_図114-ガンヅメ



越1\_図115-ジョソウキ



越1\_図116-ノコギリガマ



越1\_図117-イネカリキ



越1\_図118-カタネボウ

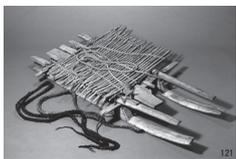


越1\_図119-コエシヨイカゴ



越1\_図120-コエダシクマデ

農耕用具【収穫・調製用具】



越1\_図121-コエフキノリ



越1\_図122-クサカリガマ



越1\_図123-ソバブチバイ



越1\_図124-センバゴケ



越1\_図125-スルス



越1\_図127-タテセン



越1\_図128-タテセン



越1\_図129-ウス



越1\_図130-キネ



越1\_図131-カギ



越1\_図132-テゴ



越1\_図133-テゴ



越1\_図134-スワゴ



越1\_図135-アシブミダッコクキ



越1\_図136-テバイ



越1\_図137-トシ



越1\_図138-トシ



越1\_図139-トミ



越1\_図140-ミ



越1\_図141-ザル

農耕用具【仕事着】



越1\_図142-カマス



越1\_図143-ヒキス



越1\_図145-ウス



越1\_図146-キネ



越1\_図147-コテ

山樵用具【山樵用具】



越1\_図148-サシコ



越1\_図149-テッポウソデ



越1\_図150-アタチタッケ



越1\_図151-モモフキ



越1\_図152-マサカリ



越1\_図153-ハガラミ



越1\_図154-クチャヤ



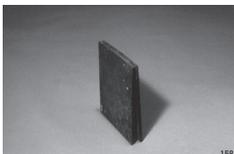
越1\_図155-ノコギリ



越1\_図156-マドノコギリ



越1\_図157-タテビキノコギリ



越1\_図158-ノコギリハサミ



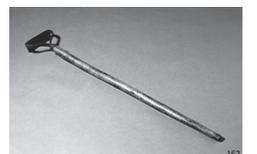
越1\_図159-ウチダシ



越1\_図160-ヤスリ



越1\_図161-ヤスリツッポ



越1\_図162-カワムキ

山樵用具【搬出用具】



越1\_図164-カギ



越1\_図165-カスガイ



越1\_図166-カン



越1\_図167-クサビ



越1\_図168-トンバシ



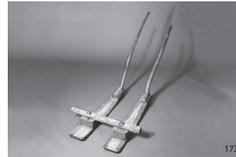
越1\_図169-ケン



越1\_図171-ガンター



越1\_図172-キフキソリ



越1\_図173-バヂ



越1\_図174-キンシャ



越1\_図175-ハン

# 「奥三面の民具」一覧について

## 神野善治

本項で紹介する「奥三面の民具」は、国の重要有形民俗文化財に指定された「越後奥三面の山村生活用具」734点を対象として、『越後奥三面の山村生活用具図録』<sup>(1)</sup>をもとにリスト化したものである。三面（みおもて）は「秘境、奥三面」などと呼ばれ、山形県境に近い新潟県北部（旧岩船郡朝日村）に位置し、朝日連峰西側の山懐に抱かれた集落であった。三方を険しい山々に囲まれ、「山に生かされた」という形容そのままに、山・川の自然物を恵みとし、狩猟や山菜採り、三面川での漁撈、農耕、山樵など、生産活動を巧みに組み合わせて四季折々に沿った生活が営まれてきた。また、カノと呼ばれる焼畑のほか、古くから田を開き、稲作も行っていた。ムラの始まりは中世に遡り、さらに縄文時代の遺跡も発見されている。その生活習俗は、江戸時代末期の書物にも紹介され、1896（明治29）年に『東京人類学雑誌』に調査報告書が掲載された後、昭和20年代には民俗学的にも注目され、調査記録が次々発表された。

本コレクションは、「我が国の山村の生産活動の有り様の一典型を示すものであり、全国的な比較資料としても重要」<sup>(2)</sup>であり、「狩猟を行うマタギの里として早くから知られてきた三面の人々の、狩猟のみならず採集、漁撈、農耕などの様々な生業を組み合わせ生活をしてきた有り様を示す資料が体系的に収集されている」（同）のが特徴である。

図録には、各資料の種別ごとの写真とその使用場面、使用方法が解説され、資料自体が保存されており、「名称と実物が特定できる」という点からも今後の山村の暮らしの民具を比較検討する条件にかなっている。指定の内訳は、狩猟用具270点、漁撈用具53点、自然物採集・加工用具108点、農耕用具190点、山樵用具113点であり、現在では、奥三面歴史交流館「縄文の里 朝日」に収蔵・保管されている。

狩猟ではカモシカ猟のヤリや村田銃のほか、小型獣のサル、ノウサギ、ムササビ猟の道具や、狩猟時に着た革製品のヤマギモンなどの装束類、獲物の運搬具、クマやアナグマのオソ（罌）を用意する道具や、川漁のドォ（釜）などが整っている。自然物採集・加工ではゼンマイ採りの用具に特徴があり、農耕用具ではカノと呼ばれた焼畑の用具、山樵用具には、伐採用具と搬出用具が含まれている。

これら民具の収集・保存は「三面の文化財保存を進める会」のメンバーが中心となって行われた。朝日村教育委員会は、昭和30年代から奥三面の生活技術を伝えるための調査整理・活用をすすめ、1978年には『朝日村の民俗』<sup>(3)</sup>を刊

行している。しかし、1981（昭和56）年には、奥三面ダムの建設が決まり、奥三面の集落がダムに沈むことになったのを機に、三面集落有志が集まり、この会が組織されたのである。足掛け5年の歳月をかけて集落の家々をくまなく回って集めた資料には、山村の生産用具の外にも、道具類の製作用具や、信仰・年中行事を含む生活用具全般が含まれ、4,000点余りに及ぶ（その後100点ほどが追加寄贈されて、総数4,158点となっている）。

1984年には、民俗文化映像研究所（姫田忠義監督）が記録映画『越後三面 一山に生かされた日々』を完成させ、ほぼ同時期に姫田氏が刊行委員会の代表となって『山に生かされた日々 新潟県朝日村奥三面の生活誌』<sup>(4)</sup>が刊行されて、この山の村の暮らしが民具とともに克明に記録された。筆者は、まだ村人が居住している三面の集落を、姫田氏らの撮影隊に同行を許されて訪ねたことがあった。豪雪期の集落は、道路交通が途絶え、ダムサイトから砕氷船で氷の張った湖をさかのぼって、さらに雪道を1時間ほどラッセルして集落到達したのを思い出す。すっぽりと雪に埋もれた茅葺の家々を訪ねて冬の暮らしを垣間見る一度だけの機会となった。1985（昭和60）年には閉村、集団移転を余儀なくされ、収集された民具は目録とともに村に一括寄贈された。朝日村教育委員会は、その後も資料を整理保管しながら報告書の刊行や展示公開を行って、閉村から22年を経た2007（平成19）年、膨大な収集資料の中から、地域の特徴をよく示す資料が精選されて734点が国の重要有形民俗文化財の指定を受けた。

なお、朝日村は2008（平成20）年に村上市、荒川町、神林村、山北町と合併して村上市となり、本コレクションの所有者も村上市となっている。今回、村上市教育委員会より本叢書への民具名のリスト、および画像の転載が実現した。この場を借りて改めて御礼を申し上げたい。

「奥三面の民具」は、山村の生産用具、生活用具の重要な具体例として、今回の研究叢書で収録できた岐阜県の「徳山の民具」などととも比較検討を加えることで、全国の民具のあり方を理解する重要な基礎資料になるはずである。

---

## 注

---

- (1) 新潟県朝日村教育委員会編『越後奥三面の山村生活用具図録』2008年
- (2) 文化庁の国指定文化財等データベース「重要有形民俗文化財」詳細解説による。
- (3) 朝日村教育委員会編『朝日村の民俗』1978年
- (4) 「山に生かされた日々」刊行委員会編『山に生かされた日々 新潟県朝日村奥三面の生活誌』同委員会発行 1984年
- 

## 参考文献

---

- 小泉蒼軒『巳亥（つちのとい）随筆 七十二巻』1839年
- 暁晴翁撰・松川半山画『兼葭堂雑録 卷之三』1859年
- 宮島幹之助「越後国三面の土俗」『東京人類学雑誌（第11号第126号）』1896年
- 渡邊茂蔵「三面の調査報告豫報」『地理学研究第1号』山形大学教育学部地理学研究会 1953年
- 杉本寿「越後国・三国聚落（合本）」『山脉』1955年
- 長井政太郎「奥三面の人口問題」『地理学研究第2・3合併号』山形地理学会 1957年
- 森谷周野『新潟県文化財調査報告書第八 民俗資料編 奥三面郷狩猟習俗調査報告書』新潟県教育委員会 1961年
- 長井政太郎「越後三面伝説と古記録」『東洋文化研究所紀要 第8号』東北学院大学 1977年
- 朝日村教育委員会編『奥三面民俗文化財調査報告書Ⅰ 狩猟編』1999年
- 朝日村教育委員会編『奥三面民俗文化財調査報告書Ⅱ 採鉱・冶金編漁撈編』2002年